

熊本都市圏北東部広域的公共交通ネットワーク検討業務委託 基本仕様書

第1章 総則

1. 業務委託の目的

熊本都市圏北東部では半導体関連産業等の集積が進んでおり、今後更なる発展が期待されている。

一方、こうした都市の成長に伴い、都市圏内外における人の移動増加が見込まれることから、圏域の交通渋滞の更なる悪化が懸念されており、これらの課題解決に向けては、自動車から公共交通への利用転換が重要である。

このことから本業務は、熊本電気鉄道を軸とした広域的公共交通ネットワークの構築による熊本都市圏北東部の更なる発展や価値の向上を目的とし、まちづくりや交通など、複合的な観点からハード・ソフト両面による有効な施策を検討するものである。

第2章 業務内容

1. 計画準備

本仕様書に示す業務を把握したうえで、適正かつ円滑に業務を行うための業務方針・処理手順・工程など業務実施に必要な諸事情を計画し、業務計画書を作成する。

2. 現状整理及び課題分析

熊本電鉄沿線を含めた熊本都市圏北東部における土地利用、都市施設の整備、企業の立地、公共交通の利用状況などについて、現状及び社会情勢の変化に伴う今後の見込みを整理し、熊本電鉄等の公共交通への利用転換や広域的公共交通ネットワーク強化に対する課題を分析する。

※上記の現状整理や課題分析においては、現地踏査、関係自治体や鉄道事業者等へのヒアリング、関係機関における関連計画等の資料収集などにより、現地状況や各関係機関が認識している課題等について、必要な情報を収集すること。

3. 施策の検討

熊本都市圏北東部(熊本電鉄沿線～セミコンテクノパーク周辺の市民や企業など)における公共交通の既存利用者や、自動車から公共交通への利用転換が見込まれる潜在的利用者の公共交通に対する市民ニーズを把握し、必要性や有効性を明確にしたうえで、2で分析した課題解決に資する施策を提案する。

施策提案にあたっては、熊本都市圏北東部の広域的公共交通ネットワーク強化をはかるため、土地利用等のまちづくり施策や交通施策など、複合的な観点で検討するもの。

また、提案した施策群全体の事業展開を整理した上で、各施策の事業スキーム(事業概要、概算事業費、事業実施体制)や費用便益の分析、スケジュール、役割分担(継続的な検討主体など)を検討・整理すること。

※費用便益の分析については、各施策の実現に向けて必要な熊本電鉄への利用転換量を示すこと。

なお、別表の施策案については過年度の協議会において提示された施策候補であり、提案にあたっては、別表の施策案も含めて検討を行うこと。

4. 協議会運営支援

専門部会(4回程度を想定)に出席し、基礎調査の技術的な事項について、説明・質疑応答を行う。

5. 打合せ

打合せは以下を想定している。なお、打合せ回数に変更が生じる場合は、調査職員と協議し業務上必要と認められる場合には、契約変更の対象とする。また、打ち合わせを行う場合においては、管理技術者が立ち会うものとする。

1業務着手時 1回

2中間打合せ 3回

3成果品納入時 1回

6. 報告書作成

上記の検討成果を報告書として R8年3月までに取りまとめる。なお、令和8年度当初予算に関する施策等については、概算事業費や効果等について R7年10月までに中間成果品として取りまとめるものとする。

7. 業務上の条件

(1) 関連部会等

本業務委託における検討事項については、熊本市基幹公共交通機能強化部会(10月、1月予定)等に諮る予定であり、部会等における意見を検討に反映するものとする。

(2) 関連計画

検討にあたっては、関係機関における都市マスタープラン等、関連計画を参照するものとする。

8. その他

基本仕様書は本業務のあらましを示すものであり、業務の内容の詳細については、契約の相手方候補者と協議し、本業務の仕様書を作成するものとする。

別 表

分野	施策番号	施策(案)	目的
結節機能強化	1	運行本数の増加による輸送力強化に向けた離合駅の設定	・運行本数を増やし輸送可能人数の増加
	2	新たな交通 NW 構築として通勤バスの導入 ① 大津植木線 ② 中九州横断道路	・セミコンテクノパークまでのアクセスとして、負担が大きい JR 豊肥本線の代替手段として選択できる交通ネットワークの構築
	3	ダイヤ調整等による JR と電鉄の乗継易さ向上	・電鉄の利用者増加
	4	市電と電鉄の相互乗入(時間短縮、乗換え手間減少)	・上熊本駅での乗換が不要になり利便性向上
	5	市電と電鉄の対面乗換え(時間短縮、乗換え手間減少)	・上熊本駅での乗換移動距離が短くなることによる利便性向上
利用促進	6	駅前広場の路面標示等案内の充実	・乗換え利便性向上
	7	P&R による電鉄沿線での乗換駐車スペースの確保	・電鉄利用圏域の増大による利用者増加
	8	駐輪場整備等による近隣居住地～最寄駅の移動手段の提供	・電鉄利用圏域の増大による利用者増加
	9	鉄道利用者への料金割引	・電鉄の利用者増加
まちづくり	10	立地適正化計画に基づき居住誘導等、電鉄沿線の価値を高める取組み	・電鉄の利用者増加